



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月29日

上場会社名 東洋テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9686 URL <https://www.toyo-tec.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 博之
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 入浦 直仁 (TEL) 06-6563-2111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,554	2.2	4	△96.8	26	△85.2	△71	—
2024年3月期第1四半期	7,394	11.9	142	—	176	285.3	79	220.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 170百万円(△17.5%) 2024年3月期第1四半期 206百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 △6.95	円 銭 —
2024年3月期第1四半期	7.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 39,288	百万円 21,306	% 54.2
2024年3月期	35,772	21,312	59.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 21,306百万円 2024年3月期 21,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 36.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	10.4	1,350	39.7	1,400	31.6	840	34.1	81.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 4社(社名) アムス・セキュリティサービ、除外 -社(社名) -
ス株式会社 他

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報) 当四半期における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	11,440,000株	2024年3月期	11,440,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	1,156,921株	2024年3月期	1,154,016株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	10,278,786株	2024年3月期1Q	10,227,779株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

既存取引先への値上げ交渉や、不採算取引の見直しに引き続き取り組んだことや、新規契約獲得にも注力し、東洋テック、関連会社ともに警備事業が安定的に推移しました。その結果売上高は7,554百万円（前年同四半期比159百万円の増収）となりました。

警備事業の基盤強化を図るため、アムスグループ3社、関西ユナイテッドプロテクション株式会社をグループ化し、M&Aによる一時的費用170百万円を計上しました。また、インフレ・物価高の経済環境や、従業員エンゲージメントを考慮し前年度に引き続きベアを実施しました。その結果、営業利益4百万円（前年同四半期比138百万円減）、経常利益26百万円（前年同四半期比150百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失71百万円（前年同四半期比150百万円減）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業におきましては、概ね安定的に推移したものの、2024年5月にアムス・セキュリティサービス株式会社（大阪市）、アムス・セキュリティサービス株式会社（京都府福知山市）、アムス・シークレットサービス株式会社、同6月に関西ユナイテッドプロテクション株式会社をM&Aしたことによる一時的費用が先行し減益となりました。連結収益には第2四半期連結累計期間より寄与する予定です。

その結果、警備事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、5,185百万円（前年同四半期比140百万円、2.8%増）、セグメント損失は38百万円（前年同四半期比188百万円減）となりました。

(ビル管理事業)

ビル管理事業におきましては、昨年の清掃2社統合により一連の子会社再編は完了し、今年度は一過性の費用の発生はなく、僅かではありますが黒字を確保しております。また、プロセス改革部を設置し、収益性の改善に着手しました。

その結果、ビル管理事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、2,239百万円（前年同四半期比△12百万円、0.5%減）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比20百万円増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、不動産賃貸部門が引き続き安定的に推移いたしました。新規物件取得や低稼働物件の処分の効果、新たな取得費用の発生もなかったことから、利益面も改善しております。

その結果、不動産事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、129百万円（前年同四半期比31百万円、32.8%増）、セグメント利益は40百万円（前年同四半期比45百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、16,334百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加しました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が155百万円減少しましたが、一方で現金及び預金が126百万円、ATM管理業務に係る受託現預金が57百万円、貯蔵品が57百万円、その他流動資産（前払費用等）が135百万円それぞれ増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、22,954百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,296百万円増加しました。その主な要因は、ソフトウェアが34百万円減少しましたが、一方で建物及び構築物が78百万円、土地が31百万円、のれんが2,773百万円、投資有価証券が361百万円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、10,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,828百万円増加しました。その主な要因は、買掛金が201百万円、未払法人税等が153百万円、賞与引当金が186百万円それぞれ減少しましたが、一方で短期借入金が2,915百万円、預り金が191百万円、その他流動負債(未払費用等)が259百万円それぞれ増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ692百万円増加しました。その主な要因は、社債が500百万円、繰延税金負債が133百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、21,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少しました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.6%から5.4ポイント減の54.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月9日の「2024年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927,333	6,053,714
受託現預金	4,966,422	5,023,558
受取手形、売掛金及び契約資産	3,117,026	2,961,264
商品	8,304	8,848
貯蔵品	390,363	447,621
販売用不動産	1,080,474	1,080,474
その他	627,097	762,762
貸倒引当金	△2,237	△4,137
流動資産合計	16,114,784	16,334,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,739,354	4,818,002
機械装置及び運搬具（純額）	2,288,914	2,278,039
土地	6,274,673	6,306,257
建設仮勘定	50,591	27,700
その他（純額）	633,491	653,351
有形固定資産合計	13,987,025	14,083,351
無形固定資産		
ソフトウェア	321,661	286,943
のれん	493,863	3,267,412
その他	328,703	321,572
無形固定資産合計	1,144,228	3,875,928
投資その他の資産		
投資有価証券	2,993,595	3,355,476
繰延税金資産	189,667	238,468
退職給付に係る資産	501,400	508,026
その他	856,867	911,221
貸倒引当金	△15,460	△18,371
投資その他の資産合計	4,526,069	4,994,820
固定資産合計	19,657,323	22,954,100
資産合計	35,772,107	39,288,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	395,007	193,929
短期借入金	545,000	3,460,420
1年内返済予定の長期借入金	415,848	415,848
リース債務	55,428	54,782
未払法人税等	258,483	105,391
契約負債	319,231	343,448
預り金	2,146,860	2,337,865
賞与引当金	580,040	393,669
役員賞与引当金	28,740	8,586
その他	2,537,343	2,796,945
流動負債合計	7,281,983	10,110,886
固定負債		
社債	1,000,000	1,500,000
長期借入金	4,151,598	4,188,634
リース債務	379,651	366,207
長期契約負債	217,958	217,830
繰延税金負債	226,942	360,142
株式給付引当金	35,766	44,203
退職給付に係る負債	722,041	730,235
その他	444,110	463,525
固定負債合計	7,178,069	7,870,779
負債合計	14,460,053	17,981,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,671,617	8,671,617
利益剰余金	9,223,488	8,959,935
自己株式	△1,124,079	△1,107,580
株主資本合計	21,389,025	21,141,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,248,769	1,490,602
土地再評価差額金	△1,362,016	△1,362,016
退職給付に係る調整累計額	36,275	35,984
その他の包括利益累計額合計	△76,971	164,570
純資産合計	21,312,054	21,306,542
負債純資産合計	35,772,107	39,288,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	7,394,539	7,554,451
売上原価	5,973,794	6,073,869
売上総利益	1,420,744	1,480,581
販売費及び一般管理費	1,277,972	1,476,029
営業利益	142,771	4,551
営業外収益		
受取利息	21	25
受取配当金	37,978	45,850
その他	10,300	6,916
営業外収益合計	48,299	52,792
営業外費用		
支払利息	9,968	13,224
その他	4,593	18,069
営業外費用合計	14,562	31,294
経常利益	176,509	26,050
特別損失		
訴訟関連損失	-	12,248
固定資産除却損	16,794	14,842
事務所移転費用	15,102	-
特別損失合計	31,896	27,091
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	144,612	△1,041
法人税、住民税及び事業税	50,535	45,300
法人税等調整額	15,030	25,111
法人税等合計	65,566	70,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,045	△71,452
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,045	△71,452

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,045	△71,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,740	241,832
退職給付に係る調整額	△2,537	△291
その他の包括利益合計	127,202	241,541
四半期包括利益	206,248	170,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,248	170,088
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当四半期における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)、アムス・セキュリティサービス株式会社(京都府福知山市)、アムス・シークレットサービス株式会社及び関西ユナイテッドプロテクション株式会社の株式を取得したことにより、当第1四半期連結会計期間末をみなし取得日として連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,045,472	2,251,464	97,602	7,394,539	—	7,394,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,928	205,323	—	226,252	△226,252	—
計	5,066,400	2,456,788	97,602	7,620,791	△226,252	7,394,539
セグメント利益 又は損失(△)	149,729	△5,025	△5,350	139,353	3,418	142,771

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,185,624	2,239,237	129,588	7,554,451	—	7,554,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,112	199,705	4,200	226,018	△226,018	—
計	5,207,737	2,438,943	133,788	7,780,469	△226,018	7,554,451
セグメント利益 又は損失(△)	△38,918	15,561	40,313	16,956	△12,404	4,551

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間より、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)、アムス・セキュリティサービス株式会社(京都府福知山市)、アムス・シークレットサービス株式会社及び関西ユナイテッドプロテクション株式会社の発行済株式の全部を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより、警備事業セグメントにおいて、のれんの増加額は2,792,851千円となりました。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	264,028千円	282,416千円
のれんの償却額	19,778千円	19,303千円